

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ILe 糸満 かなさ

公表日 令和8年5月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			・療育室以外にも個別な支援室がある為、その場に応じた適切な活用をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		必要以上の配置はしている	・安全に過ごせるよう配置しており、外出時は特に安全に配置できるようにします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・バリアフリー対応児童がいない。	・必要な児童に必要な配慮が出来るよう、努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			・職員全員が参加できるミーティングを実施していきます。 ・申し送りや振り返りの機会を設けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			・年に1回アンケート調査を実施し、回答いただいた内容について話し合いの場を設けています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者による外部の評価を設けていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月1、2度の勉強会、朝のミーティングを行うなど多職種との勉強会を随時行っている定期的実施している	・今後も内部研修の実施、外部・オンライン研修の参加を積極的に行っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			・支援計画に基づいた支援の実施、職員間での共有に努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			・今後も意見を出し合いながら、児童に応じた活動内容を立案し、個別活動を実施していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			・平日・休日に応じた活動を組み合わせて実施しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			・ミーティングや職員間で意見を出し合いながら、児童に応じた活動内容を立案していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		1か月の予定表を作り、固定化しないようバランスを考えて作っている。	・児童の意見を反映しつつ、話し合いの場を積極的に設けていきます。 ・専門職の観点からの意見も取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			・今後も意見を出し合いながら、児童に応じた活動内容を立案し、個別活動を実施していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・その日の活動や訪問者などの確認を行い、漏れやミスが無いように努めています。 ・午前中に必ず実施しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	申し送り記録似て共有している	・申し送りの記入はもちろん目を通し確認し週に一度振り返りを設けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々記録を取り、朝はそれのチェックから始まり、週の初めには振り返りを行う支援計画に沿って実施している	・今後も日々の経過観察から見てきた点を改善できるように話し合いの場を設けて支援の改善に繋げていきます。
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		必要以上のモニタを実施	・ここにあった対応を行い、必要に応じて行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7			・平日・休日に応じた活動を組み合わせて実施しています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			・児童発達支援管理責任者を主として、参画して参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			・学校や家庭への確認を行い、その場に合った対応を行い必要に応じて各学校のホームページや電話確認を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			・関係機関と必要な情報を適切に共有していくように努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		対象児童が在籍していない	・対象児童が在籍していません。 ・必要に応じて、職員が障害福祉サービス事業所への施設見学を行い、今後の卒業を見越した支援に繋がられるよう努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	クリニックのDrや多職種からの助言研修を取り組んでいる	・今後も積極的に参加できるよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	公園など、戸外遊びの際関わりを持つ事がある。	・感染予防に配慮しつつ、交流の機会を設けていく様に努めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		協議会の知らせや情報が少ない	・協議会への理解を深め、積極的に参加を目指します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・引き続き、保護者との情報共有を図り、お子様の支援について共通理解を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		・ペアレントトレーニングの研修の情報を集め、保護者に共有してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			・面談や会報などを通して、伝えていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時や面談にて行っている	・今後も必要に応じて、面談等で話し合いの場を設けていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		年1回の保護者会を行っているその他、親子レクなど行事を入れている。年2回程	・保護者会を年に3回入れ話し合う場を設けています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			・月ごとのお知らせ、専門職員からの便り、事業所からの便りを行事ごとに配布しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			・今後も分かりやすく情報伝達をしていけるように配慮していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		策定しているが周知までできていない	・会報や保護者会を通して、保護者へお知らせしていますが、職員間でも周知を徹底していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		対象児童が在籍していない	・今後も定期的に情報更新を行なっていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			・今後も情報共有を行い、事故防止に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部研修は行っているが全職員への周知が出来ていない。	・今後も内部・外部研修を通して、適切な支援ができるよう努めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			・今後も身体拘束のマニュアルを職員間で共有し、マニュアルに沿った対応を行なっていきます。